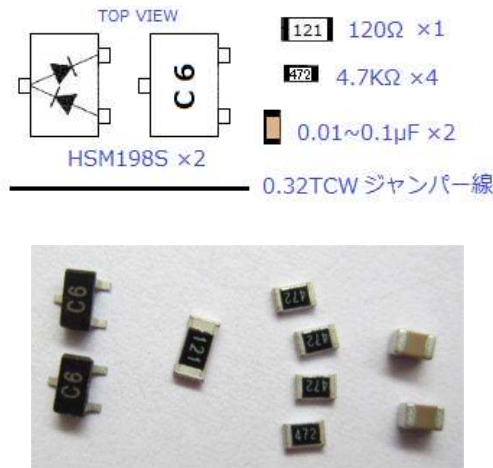
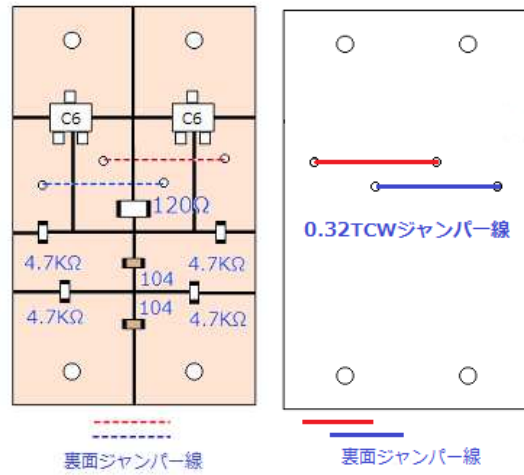
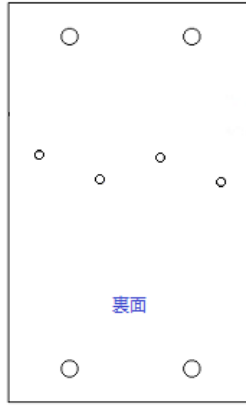
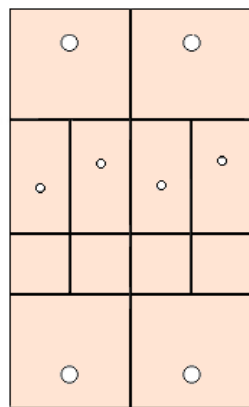


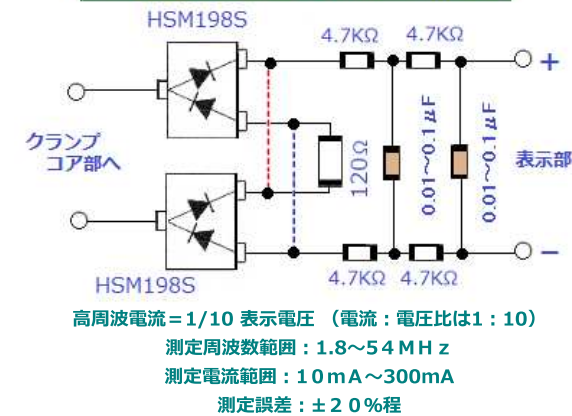
# デジタルRF電流計バージョン2-C 製作例

## 検出部 基板 部品配置例

片面プリント基板に部品をはんだ付けします  
基板裏面で2本のジャンパー配線します



## Ver.2-C :検波、平滑部、構成図

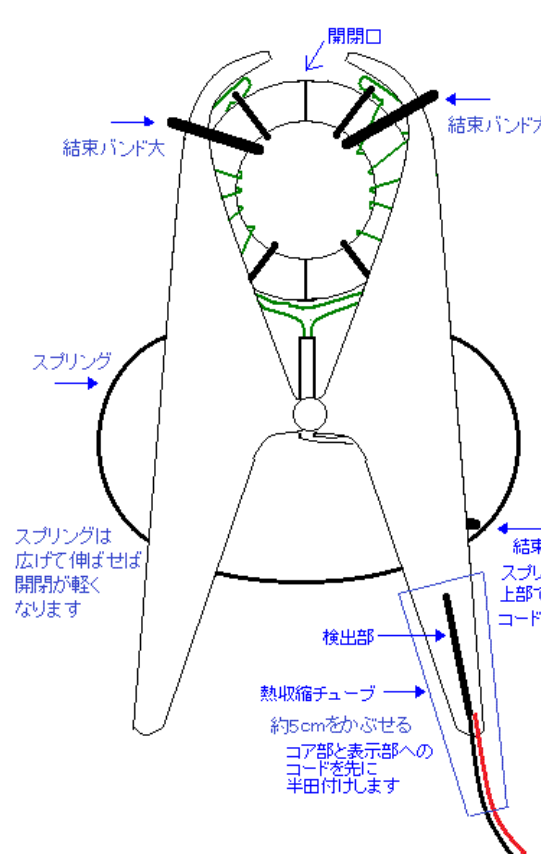
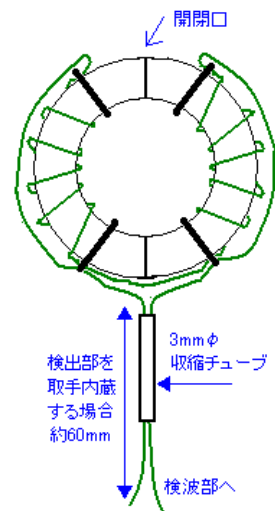


高周波電流 = 1/10 表示電圧 (電流 : 電圧比は1 : 10)  
測定周波数範囲 : 1.8~54 MHz  
測定電流範囲 : 10mA~300mA  
測定誤差 : ±2.0%程



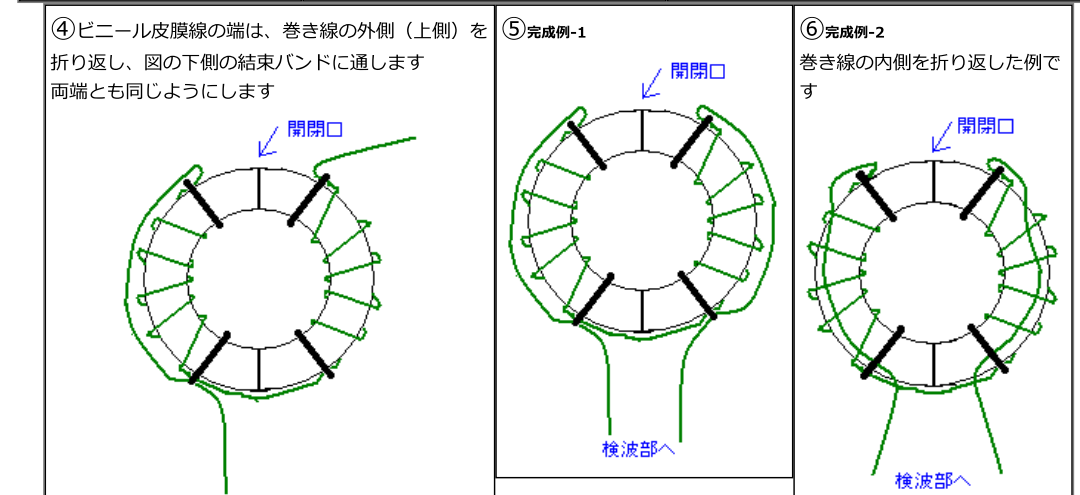
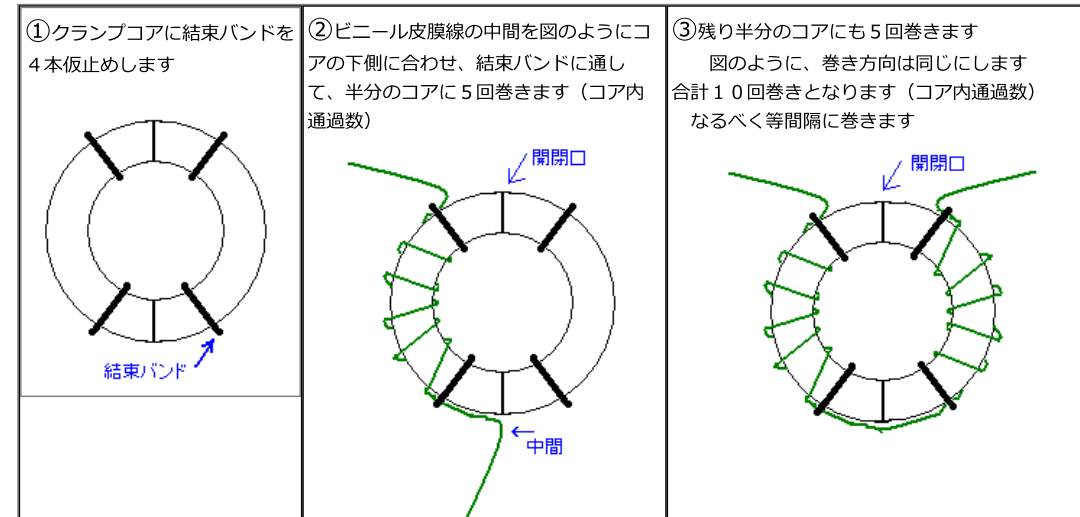
## 検波部基板を 取手に内蔵配置した 製作例

- ①右側のクランプコアの巻き方例の通りナイロンクランプコアに10回巻きして電流トランスを作ります 検出部へのコードに、右図のように3mmφの収縮チューブを通します
- ②特大洗濯バサミに右図のようにはさんで、開閉口に近い方で結束バンド大で固定します (検出部へのコードは内側のすき間から取手の方に通しておきます)
- ③片面プリント基板で作った検出部にコアからの線と、表示部への赤黒平行線を、それぞれ半田付けします  
コアからの線は、検波部製作例の写真のように、スプリングの間を通して検波部基板につなぎ、開閉がスムーズになるよう取めます、スプリング穴の上部でコードを固定します
- ④透明の熱収縮チューブを、赤黒平行線側から通して、取手の内側に収めた検波部基板ごと、かぶせます  
ヒートガンや強力ドライヤーなどの熱風で、収縮固定します
- ⑤赤黒平行線の先に、ミノムシクリップを半田付けします

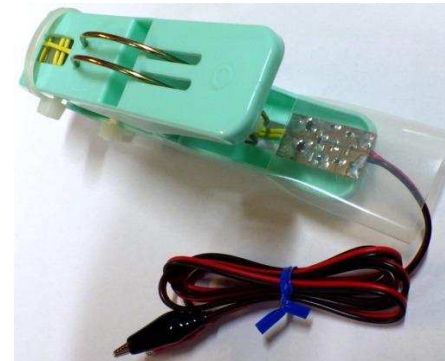


## ..... クランプコアの巻き方例 .....

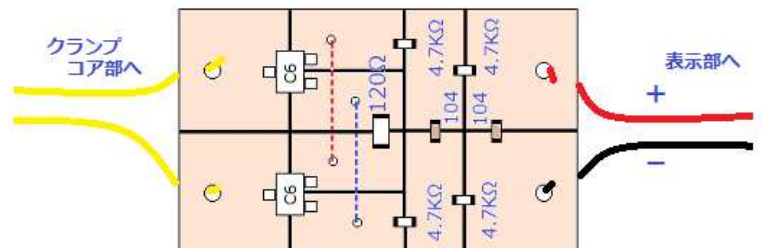
クランプコアにビニール被膜線を10回巻きします (コア内通過数)  
ビニール被膜線は、半分に折り曲げて、中間にしるしをしておきます (ナイロンクランプの上に巻きます)  
巻き方の例を紹介し参考になれば幸いです



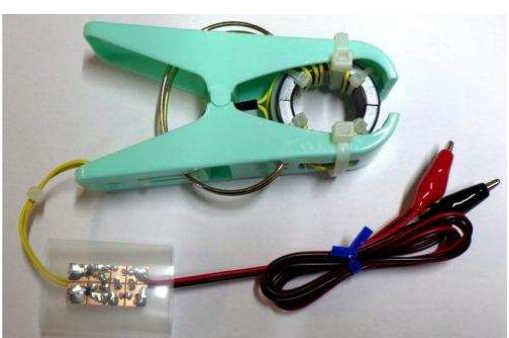
## 検波部製作例



## 検波部 配線



## 検波部基板を コード中間に配置した 製作例



## テスターに接続した例



## 電流トランスの製作例

ナイロンクランプの上から10回巻、開閉口のナイロンの突起部分はカットしました

